

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	鳥取県
-------	-----

学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	気高町立宝木小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8	14
児童数	29	17	34	23	34	30	5	172	

研究の概要

1. 研究主題

教科担任制や個人カルテをもとにした少人数指導と、児童の学ぶ意欲を育てる授業づくり

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

教科担任制

中学年(3・4年)、高学年(5・6年)の隣接学年の担任で、国語・算数を中心とした部分的な教科担任制を実施する。

個人カルテ(1年～6年、国語・算数)

個人をつまづきの段階を把握し、個に応じた指導方法を工夫したり、基礎的な内容の定着を図ったりするため。

個に応じた指導の充実

1年、国語・算数でのTT

小学校入門期の基礎指導の定着を図るため。

3年～6年、国語でのTT、少人数指導

ことばの基礎基本を位置づけるとともに、学び方を身につけて主体的に学ぶための学習過程を工夫するため。

3年～6年・算数での少人数指導

児童の理解の状況に差がでやすい教科であり、一人一人の習熟度や興味関心などの児童の実態に応じて、指導方法の工夫をするため。

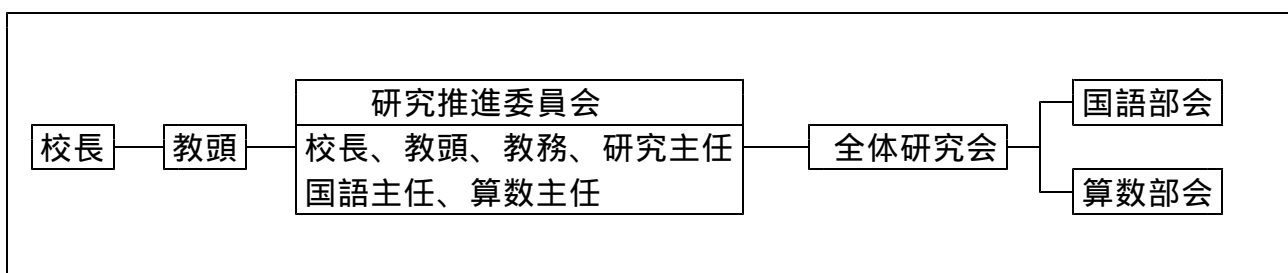
(2) 年次ごとの計画

平成 15 年 度	<p>1 テーマ 教科担任制や個人カルテをもとにした少人数指導と、児童の学ぶ意欲を育てる授業づくり</p> <p>2 研究の見通し(仮説) 一人一人の学習の定着状況やつまづきを把握し、個に応じた指導方法を工夫すれば、児童の学ぶ意欲が高まり、「知識・技能の基礎・基本」「学び方の基礎・基本」に関わる基礎学力が向上するだろう。</p> <p>3 研究の内容・方法 (1) わかる授業づくり 中学年(3・4年)、高学年(5・6年)の隣接学年の担任で、国語・算数を中心とした部分的な教科担任制と、教科の基礎基本を踏まえた指導体制の継続。 単元の基礎基本を明確にした指導 担任、教科担任による「子どもたちの学習状況の実態」を観察・把握・分析 学ぶ意欲を育てる学習過程の工夫(授業研究会)</p> <p>ア、国語 「ことばの基礎基本を大切にし、一人一人の学ぶ意欲を育てる授業づくり」 ことばの基礎基本の指導を位置づけた学習過程の工夫 (1時間ごとに身につけた力が具体的に自覚できる学習過程の在り方) 学習活動のめあてを設定し到達度を実感できる学習過程の在り方(学び方カードの工夫と活用)</p> <p>イ、算数 「基礎基本をふまえ、一人一人の学ぶ意欲を育てる授業づくり」 ～基礎・基本を身につけ、主体的に取り組む学習の場づくり～ 問題解決能力を育成する算数科学習の在り方を工夫。 考える力の育成をめざし、問題解決的な学習過程の基本を、次のように考えて授業を組み立てる。 【つかみ・見通す】 【考える】(自力解決) 【学び合う】(共同解決) 【試す・使ってみる】(適用) 【振り返る】(評価) 操作的活動を多く取り入れて思考力を育てるための教材研究。 多様な表現力を育てるノートづくりの指導。</p> <p>(2) 個に応じた指導の充実 一人一人の習熟度や興味関心など、児童の実態に応じた少人数指導により、学ぶ意欲を高め、補充学習や発展学習の工夫をし学力の向上を図る。 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善について 少人数授業、TT授業など、指導方法と指導体制の工夫 課題別、習熟度別グループなど単元に応じた少人数授業の工夫・改善 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための学習教材の開発</p>
--------------------	---

	<p>(課題別、習熟度別グループの実態に応じた学習教材の工夫) 発展的な学習における教材開発と実践の蓄積 個に応じた補充教材、学習プリントの作成・利用</p> <p>(3) 指導と評価の一体化</p> <p>国語科 ことばの基礎基本を伸ばすための個人カルテの作成 算数科 個人カルテの改善...「数と計算」「量と測定」「図形」領域毎の つまづきを診断し、基礎基本の定着を図るための個人カルテの作成と指導 法の工夫。 見通しを持って学習に取り組むための自己評価カード</p>
--	--

平成16年度	<p>1 テーマ 教科担任制や個人カルテをもとにした少人数指導と、児童の学ぶ意欲を育てる授業づくり</p> <p>2 研究の見通し(仮説) 一人一人の学習の定着状況やつまづきを把握し、個に応じた指導方法を工夫するとともに、<u>学校・家庭での学習環境を整備することによって</u>、児童の学ぶ意欲が高まり、「知識・技能の基礎・基本」「学び方の基礎・基本」に関わる基礎学力が向上するだろう。</p> <p>3 研究の内容・方法 (1) 平成15年度の研究の継続。 (2) 学校・家庭での人間関係づくりにつとめ、家庭学習の習慣化を図ることにより学ぶ意欲の向上を図る。</p>
--------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

<p>(1) 部分教科担任制 指導に有効な教材研究や教材の準備など、児童の個性に応じた指導法を工夫しようとする意識が高まってきた。</p>
--

複数の教員の目で児童理解をすることにより、児童を多面的にとらえることができ、より適切な指導方法を工夫することができる体制ができてきた。
教師と児童の人間関係が深まり、より豊かな学校生活を送ることができるようになった。

- (2) 個人カルテの活用により、児童のつまずきを分析・把握することができ、個に応じた指導の対策を講じることができるようになった。
- (3) 学習の手引きや自己評価カードを活用することにより、自分の学びを振り返りながら、意欲的に学習に取り組む児童が増えてきた。
- (4) 一人一人の習熟度や興味関心に応じた指導（少人数指導、TT）により、児童の学習参加の機会を格段に増やすことができ、意欲的に学習に取り組む児童が増えてきた。

2. 今後の課題

学習の基盤を支える学習環境作り（人間関係づくり、家庭学習の習慣化）
補足的な学習や発展的な学習に応じるための教材の開発と蓄積。
問題解決能力を育成する算数科学習の教材分析と学習展開の工夫。

学力等把握のための学校としての取組

算数・国語の個人カルテによる学習状況の把握（学習時間内、基礎学習の時間）
定期的な学習状況調査の実施（年2回：5月上旬、2月上旬）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成15年度小学校初任者研修 算数授業公開（学習指導）

平成15年7月1日（火）

説明：「基礎基本をふまえ、学習意欲を育てるための指導法の工夫」

授業公開：1年、3年、6年

気高郡小学校教育研究会算数部授業研究会

平成15年11月25日（火）

「個のよさを生かし伸ばす算数学習～算数的活動を大切にした学習活動の展開～」

6年算数「分数のわり算」

研究紀要（第1年次のまとめ）...町内小中学校に配布

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無